

8月17日(水) 理科 「生命とそれをめぐる環境に関するサイエンス」

(1) 閉鎖性内湾の環境科学		海洋における海水及び底泥環境の化学的・生物学的調査方法（水質分析法、プランクトン密度、底生生物の生息数の測定等）について学び、さらに福岡市の博多湾東部海域の最近の調査結果をもとに、現在の博多湾で発生する赤潮や貧酸素水塊の形成メカニズムについて理解するとともに、それが海底や干潟の生態系へ及ぼす影響について考える。		
時間		授業名	講習担当	内容
1 限	9:00~10:00	閉鎖性内湾における富栄養化の化学的評価	池田	<p>海域における富栄養化の原因やその影響を明らかにするための化学的な環境調査について、調査方法や分析方法も提示しながら解説する。さらに、閉鎖性の高い博多湾において実施した化学的な環境調査の結果から、博多湾における富栄養化現象について考察する。</p> <p><u>※履修認定のため、レポートの作成有り（授業時間に含む）</u></p>
2 限	10:10~11:10			
3 限	11:20~12:20			
4 限	13:20~14:20	閉鎖性内湾における富栄養化の生物学的評価	山田	<p>海域における富栄養化の原因やその影響を明らかにするための、現場観測の方法や海水・底泥試料および生物試料の採取方法を観測器具や採取器具を提示しながら解説する。さらに、博多湾の富栄養化現象について、化学的側面からの考察に引き続き、生物学的な環境調査結果からも検討を試みる。</p> <p><u>※履修認定のため、レポートの作成有り（授業時間に含む）</u></p>
5 限	14:30~15:30			
6 限	15:40~16:40			

8月18日(木) 理科 「生命とそれをめぐる環境に関するサイエンス」

(2) 生命環境の科学		分子生物学、組織化学、生理学等の視点から、「環境ホルモンをめぐる諸問題」、「植物における低温耐性の獲得機構」などの最新の研究を題材に、環境に対する生物の多様な応答・適応機構について学ぶ。		
時間		授業名	講習担当	内容
1 限	9:00~10:00	環境ホルモンをめぐる諸問題	小泉	<p>環境ホルモンは、正確には「外因性内分泌かく乱化学物質」と呼ばれる化学物質である。平たく言えば、人工の化学物質が体内の性ホルモンと同じような働きをして、ホルモン系をかく乱する物質である。これらの物質は、プラスチックの原料であったり、洗剤の分解物であったりして、身の回りに存在し、そして、間違いなく今までの環境汚染物質とは質の異なる深刻な問題を含んでいる。これらの環境ホルモンをめぐる諸問題について、その基本的な解説を行う。そして、「生命」の視点から、この新しい環境汚染がいかに深刻な問題をはらんでいるかを解説する。</p> <p><u>※履修認定のため、レポートの作成有り(授業時間に含む)</u></p>
2 限	10:10~11:10			
3 限	11:20~12:20			
4 限	13:20~14:20	植物における環境ストレスへの応答機構	田村	<p>生物に対する人為的な遺伝子組換え技術の進歩は、医療や農業などの分野に画期的な方法・アイデアを提供し成果を上げている。本授業では、「植物における環境ストレスへの応答機構」を取り上げ、環境に対する生物の感知・応答・適応機構や遺伝子組換え体の作出についての原理・方法等を概説する。また、光合成活性の測定の実験等も時間が許す限り実施したい。</p> <p><u>※履修認定のため、レポートの作成有り(授業時間に含む)</u></p>
5 限	14:30~15:30			
6 限	15:40~16:40			

8月19日(金) 理科 「生命とそれをめぐる環境に関するサイエンス」

(3) 化学物質と環境		現在社会における化学物質と環境の関わりについて、(1) 大気中での汚染物質の環境への影響(分析化学的な研究)、(2) 医療や医薬品と環境との関わり(生化学的な研究)などに関する最新の研究を題材にして学習する。		
時間		授業名	講習担当	内容
1限	9:00~10:00	大気環境問題その概論と 実例	馬	1. 大気環境問題を引き起こす汚染物質の排出源や発生メカニズム、環境における化学反応、またこれらの採集及び化学分析法について学ぶ。 2. 実測結果を例として取り上げ、地域及び地球規模の大気環境問題を解説する。 <u>※履修認定のため、レポートの作成有り(授業時間に含む)</u>
2限	10:10~11:10			
3限	11:20~12:20			
4限	13:20~14:20	生物毒から薬を創る	佐藤	人工的な有機化合物に代わって自然界に棲息する生物がもつ活性物質を利用する試みの一つとして生物毒に注目し、これを医薬品として利用する研究について分かりやすく解説する。 まず前半で「生物毒とは何か」についてクモ、ヘビ、サソリ、フグなどの毒を例に解説し、後半で生物毒を利用した医薬品の事例について紹介する。 <u>※履修認定のため、テスト有り(授業時間に含む)</u>
5限	14:30~15:30			
6限	15:40~16:40			

福岡女子大学国文学科 教員免許状更新講習

8月22日(月) 国語 「境界を超える「ことば」と「文学」」

境界を超える「ことば」と「文学」 (各回70分授業)		日本の文学をめぐる最近の研究動向を踏まえつつ、文学的・語学的な諸問題を講じていく。学際的な手法を取り入れることによって、「国語」教材の研究にも有益となる新たな視点を取り込む。		
時間		授業名	講習担当	内容
午前の部 1限	9:00~10:10	「もの」と「こころ」と和歌	今井	「物」と「心」から見る和歌表現。ここでは、古典和歌の結句表現に着目して、どのような「物」が和歌の「心」を形づくっているかを考えてみたいと思います。具体的には「～ものにぞありける」や「～ここちこそすれ」などの結句に接続する上四句のバリエーションを確かめ、そこに現れる「物」が「心」と結びつき、「文学」への道筋をたどる過程を追っていきます。こうした視点から、日本文学の伝統的な表現世界を垣間見ることができれば、と目論んでおります。
午前の部 2限	10:20~11:30	言語の構造と古典読解	坂本	古典文を読み解く上でポイントとなる言語の統合的構造(文法的構造)と連合的構造(語彙的構造)を十分に把握し活用した読解法、教授法について講義します。教科書にもよく取り上げられる『竹取物語』等の物語類や勅撰和歌集などの古典資料を主要題材として、古典語と近代語の統合的構造の変遷を視野に入れた教材研究の実例や、連合的構造に着目した教材活用法のヒントなどを交えて示します。
午前の部 3限	11:40~12:20	午前の部 筆記試験	坂本	
午後の部 1限	13:20~14:30	日本語を見直す	矢野	<p>基本に立ち返って、言葉のおもしろさを見直したいと思います。言語のはたらきをはじめ種々の現象について、日本語に関して、先行研究などをもとに、新しい見方・考え方も紹介します。140分ありますので、前半で現代語に関わる問題を、後半で歴史に関わる問題を扱うことができると考えています。例えば、次のようなものです。</p> <p>例 前半：①言葉遊びはなぜ可能か ②日本語のユレあれこれ など 後半：①日本語の清濁とはどのようなものか ②係り結びのはたらきとは何か など</p>
午後の部 2限	14:40~15:50			
午後の部 3限	16:00~16:40	午後の部 筆記試験	坂本	

福岡女子大学国文学科 教員免許状更新講習

8月23日(火) 国語 「「国語」教材への視点」

「国語」教材への視点 (各回70分授業)		教科書に採択されている国語教材については、作品の一部に留まっていることが多い。本講習では、教材をめぐって、新知見からなる読解の方法の提示、テキストの書誌的解説や日本語教育との対照など、国語教育に関わる問題を示し、新たな教授法を考える一助とする。		
時間		授業名	講習担当	内容
午前 の部 1限	9:00~10:10	「訓読」とはなにか	月野	教科書に載ることが多い漢籍(論語・桃花源記など)を例として取り上げ、訓点の問題も含めて(訓読)という漢文読解の本質的な問題に迫ります。 いわゆる文法事項の説明とは異なる展開になると思います。
午前 の部 2限	10:20~11:30	日本語教育の文法と 国語教育の文法	橋本	ことばの「産出」をその主な目的とする日本語教育と、「理解」に重点を置く国語教育とでは、何がどのように違うのか。活用や品詞の分類など文法項目に焦点を当て、日本語教育で教えられる文法と国語教育で教えられる文法との違いやその問題点を考えます。 また、近年、日本語教育の分野で多くの試みがある文法の学習項目の見直しについても紹介し、学習者にとって本当に必要な文法教育とは何かを考えます。
午前 の部 3限	11:40~12:20	午前の部 筆記試験	坂本	
午後 の部 1限	13:20~14:30	連句的発想の文体 ー細部にやどる古文 のレトリックー	大久保	古文教材でおなじみの芭蕉・蕪村・一茶の「俳句」や、俳文的な文章を扱う場合、書かれた文章の表層を直接要約するだけでは読解できず、その理解には江戸時代的「俳諧」の感覚の共有を必要とします。本時では、芭蕉や西鶴の作品にみる「俳」の発想や文体の特徴を追いながら、細部と余韻の読み方について考えます。
午後 の部 2限	14:40~15:50	近代(現代)作品の内 在律と相互関連性について I	石井	夏目漱石「こゝろ」、芥川龍之介「羅生門」、中島敦「山月記」など、教科書に採択されやすい定番というべき作品に焦点を合わせながら、それぞれの作品の読解上の問題点をあらためて問い直します。と同時にここにあげた三者の関連性に言及しながら、そこに一貫する問題を提起します。
午後 の部 3限	16:00~16:40	午後の部 筆記試験	坂本	

福岡女子大学国文学科 教員免許状更新講習

8月24日(水) 国語 「「国語」教材の講読Ⅰ」

「国語」教材の講読Ⅰ (各回70分授業)		古典及び現代文に関して、原典を専門的に読み解いていくことにより、「国語」教材に対する読解力と指導力の更なる向上を目指す。 基本的にはひとつの作品を丹念に講読していくことによって、活発な意見交換がはかれるようにする。		
時間		授業名	講習 担当	内容
午前 の部 1限	9:00~10:10	『平家物語』の「かたり」	今井	「平家物語」は、生徒にも人気のある古典作品です。『徒然草』226段が伝える「平家物語」成立に関する逸話をヒントに、「平家物語」の物語としての特徴や、その成立の背景について読み解いてみようと思います。教科書では、抒情的な文体の「覚一本」系統の本文で物語を鑑賞することが多いけれども、読み本系統の「延慶本」などと比較しながら、「平家物語」の創作の機微にも触れられたらと思っています。
午前 の部 2限	10:20~11:30			
午前 の部 3限	11:40~12:20	午前の部 筆記試験	坂本	
午後 の部 1限	13:20~14:30	源氏物語の女性たちをめぐる構想と描写	工藤	『源氏物語』薄雲巻には、幼い娘を紫の上に譲るよう求められた明石の君の苦悩が描かれています。当時の結婚制度や妻としての立場の違いによる所生の子の社会的待遇の差の実態を明らかにしつつ、明石の君の苦悩を読み取ります。併せて、紫の上を始め『源氏物語』に登場する女性達の構想上の役割、その役割ゆえの性格描写があることを述べ、点としての源氏物語教材を線として理解する視点を提示したいと思っています。
午後 の部 2限	14:40~15:50			
午後 の部 3限	16:00~16:40	午後の部 筆記試験	坂本	

福岡女子大学国文学科 教員免許状更新講習

8月25日(木) 国語 「「国語」教材の講読Ⅱ」

「国語」教材の講読Ⅱ (各回70分授業)		古典及び現代文に関して、原典を専門的に読み解いていくことにより、「国語」教材に対する読解力と指導力の更なる向上を目指す。 基本的にはひとつの作品を丹念に講読していくことによって、活発な意見交換がはかれるようにする。		
時間		授業名	講習 担当	内容
午前 の部 1限	9:00~10:10	日本の漢詩を読む	月野	近年は日本漢詩も教科書に載るようになりましたが、大学の漢文の授業ではなかなか取り上げられる機会はないようです。 そこで、本講座では江戸時代の漢詩を少しまとめたかたちで読むことによって、江戸時代の詩人たちの作詩活動のイメージをつかむことができるよう工夫したいと思っています。また、〈推敲〉の方法についても考えてみます。
午前 の部 2限	10:20~11:30			
午前 の部 3限	11:40~12:20	午前の部 筆記試験	坂本	
午後 の部 1限	13:20~14:30	近代(現代)作品の内在律 と相互関連性についてⅡ	石井	夏目漱石「こゝろ」、芥川龍之介「羅生門」、中島敦「山月記」など、教科書に採択されやすい定番というべき作品に焦点を合わせながら、それぞれの作品の読解上の問題点をあらためて問い直します。と同時にここにあげた三者の関連性に言及しながら、そこに一貫する問題を提起します。
午後 の部 2限	14:40~15:50			
午後 の部 3限	16:00~16:40	午後の部 筆記試験	坂本	